

カラービデオ受像機

取扱説明書 工事説明付き

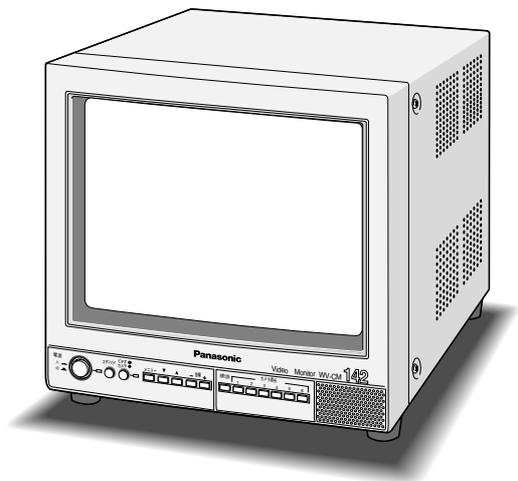
品番 WV-CM142

このたびはカラービデオ受像機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	3
操作上のお願い	5
<hr/>	
各部の名前と働き	6
操作のしかた	8
画像調節のしかた	10
<hr/>	
設定のしかた	12
設定メニュー画面	12
設定手順	13
シーケンスモードの設定	14
シーケンス時間の設定	14
音声出力の選択	15
アラーム/リモートの選択	15
アラーム入力の選択	15
アラーム自動復帰の時間選択	15
アラームブザーの設定	16
カメラタイトルの設定	16
<hr/>	
工事説明	17
接続のしかた	17
カメラの接続	17
タイムラプスVTRの接続	18
アラーム/リモート端子の接続	19
<hr/>	
故障とありましたら	21
仕様	22
保証とアフターサービス	23

はじめに

操作説明

設定のしかた

工事説明

商品概要

本機は、カラーテルックカメラ用の14型カラービデオ受像機です。カメラを6台まで接続できます。カメラ電源スイッチを「切」にすると、カメラ入力1に、当社カラーシステムカメラ〔多重VD（VD2）同期付き〕を接続することもできます。

- 各カメラの映像を手動または自動（シーケンスモード）で切り換えることができます。また、シーケンスモードには、接続されていないカメラをスキップ（飛びこし）するオートスキップ回路が内蔵されています。
- センサーからの信号でカメラ映像を切り換えることができます。
- VTRと接続でき、ビデオモニターとして使用できます。
- 映像スタンバイ機能により、画像を消しておくこともできます。（省エネルギー、焼付け防止）
- 映像出力端子付きのため、他のビデオ受像機を接続できます。
- マイクロホン付きカメラを接続することにより、カメラ付近の音を聞くことができます。
- 設定メニュー（オンスクリーン）で以下の項目を設定できます。
 - 自動切り換えチャンネルの選択
 - 自動復帰時間の選択
 - 自動切り換え時間の選択
 - アラーム音の時間の選択
 - 音声切り換えの選択
 - カメラIDの表示 / 非表示
 - アラーム / リモートモードの選択
 - カメラIDの設定
 - アラーム入力の選択

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	・・・	1
電源ケーブル（約1.8 m）	・・・	1
保証書	・・・	1

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



内部に高電圧があり、感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

- 乾いた布で手をふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 警告

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない (傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、 ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

禁止

可燃性雰囲気中で使用しない



爆発し、けがの原因となります。

禁止

重量に耐える場所に取り付ける



取付場所の強度が不十分など、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

10度以上傾斜のある場所には設置しない



落下などで、けがの原因となります。

禁止

- 傾斜のある場所に設置するときは、必ず落下防止処置を行ってください。

不安定な場所に置かない



落下などでけがの原因となります。

禁止

⚠ 注意

落とさない、強い衝撃を与えない



けがや火災の原因となります。

禁止

踏み台や腰掛けにしない



けがの原因となります。

禁止

操作上のお願い

⚠ 警告、⚠ 注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

- 直射日光の当たる場所や、熱器具の近く、温風の吹き出し口に設置しないでください。
- ていねいにお取り扱いください。落としたり、強い衝撃や振動を与えますと、故障や事故の原因になります。
- 使用温度範囲をお守りください。
 - 10 以下の寒いところや、50 以上の暑いところに設置したり使用したりしないでください。
- 厨房など蒸気や油分の多いところや、湿気、ほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 放熱口はふさがらないでください。放熱口をふさぐと内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 持ち運ぶときは電源スイッチを必ず切ってください。
- 収納台や棚におく場合、後面のコネクターやケーブルに無理な力がかからないように奥行きを十分とってください。また上面、側面を壁面から5cm以上離してください。
- 車載用など振動の激しい場所には、設置しないでください。
- 本機を近接して設置する場合、15 cm以上離してください。
相互に干渉しあい、画面に縞が入ることを防ぐためです。
- 本機を上下に重ねて置かないでください。
- 本機はラックマウントできません。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチを「OFF」にしても、電源からは遮断されません。

電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

静電気について

ブラウン管の表面に手を触れると、ごく弱い電気を感じる場合があります。これは、静電気を帯びているためです。異常ではありません。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、モーターやトランス、無線機器などの強い電界、磁界の近くで使用すると、影響を受けて雑音が入ったり、映像が曲がったり、その他の異常動作をすることがあります。このような場合はカメラケーブルを専用の薄鋼電線管に通線するか、ビデオ受像機を電界・磁界の発生源から影響がなくなるまで遠ざけてください。2台以上のビデオ受像機を使用するときはビデオ受像機ごとに電線管を設けてください。

お手入れについて

電源を切って乾いた布でふいてください。

ほこりがとれにくいときは、薄めた中性台所用洗剤を柔らかい布に染み込ませ、よくしぼり軽くふいてください。

ベンジン、シンナーなどの揮発性のものは使用しないでください。

化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってご使用ください。

調整つまみについて

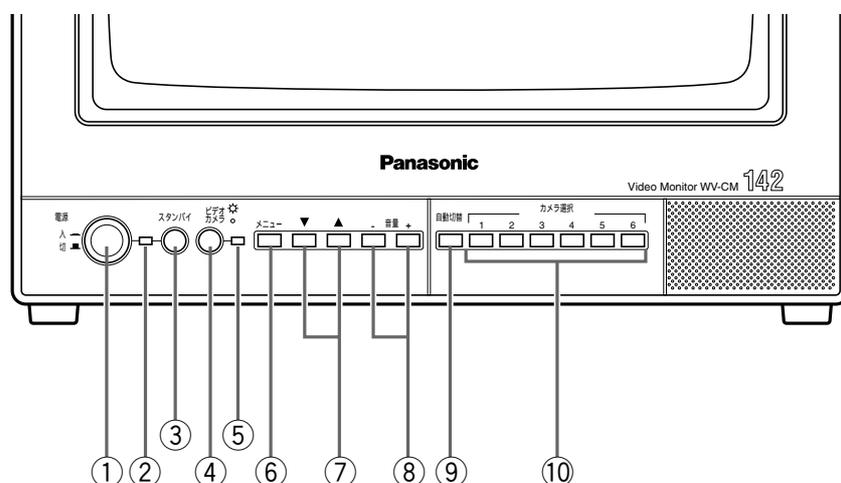
以下に示す調整つまみは、あらかじめ工場出荷時に調整されています。

調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

スクリーンコントロール、フォーカスコントロール

各部の名前と働き

前面



①電源スイッチ（入 / 切）

②電源表示

電源スイッチを「入」にすると緑色に点灯します。また、スタンバイ状態に設定すると橙色に切り換わります。

③スタンバイボタン

画面の表示を黒画または低輝度画面にします（スタンバイモード）。この状態でもカメラ選択スイッチを押せばカメラ映像を選択することができます。

④映像切換ボタン

カメラ映像とVTRの再生映像を切り換えるボタンです。「カメラ」を選択すると、カメラ映像が、「ビデオ」を選択するとVTRの再生映像が表示されます。

⑤映像切換表示

映像切換ボタンの選択状態をあらわします。
点灯：ビデオ
消灯：カメラ

⑥メニューボタン

調整およびセットアップメニューを表示します。
• 押すと、映像調整メニューが表示されます。
• 2秒以上押しつづけるとセットアップメニューが表示されます。

⑦選択ボタン

調整・設定メニューの項目を選択します。

⑧音量調節ボタン

音の大きさを調節します。
調節・設定メニュー表示中は、各項目の調節や設定を行います。

⑨自動切換ボタン

カメラの映像を自動で切り換えます。（シーケンスモード）

⑩カメラ選択ボタン

手でカメラを選択するときに使います。

⑪カメラ電源スイッチ

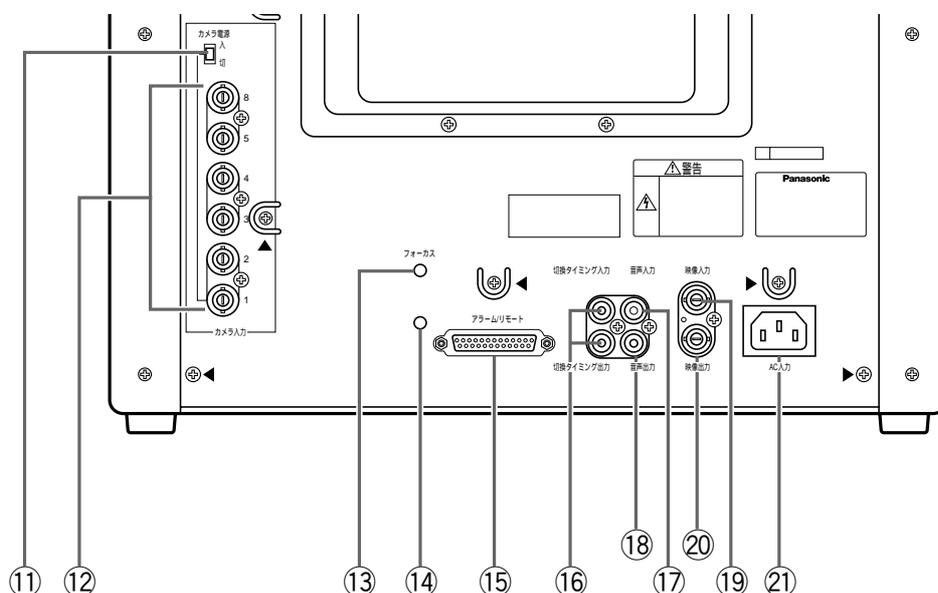
重要

カメラ電源スイッチは、必ずカメラを接続する前に設定してください。
カメラを接続してからスイッチを操作すると故障の原因となります。

カメラ入力1端子に、カラーシステムカメラ [多重VD (VD2) 同期付き] を接続するためのスイッチです。

入：専用カラーテルックカメラを接続。
切：カラーシステムカメラを接続。

後面



⑫カメラ入力端子

専用カラーテルックカメラを接続する端子です。
カメラ入力1は、カメラ電源スイッチを切り換えることにより、カラーシステムカメラ [多重VD (VD2)] を接続することもできます。

⑬フォーカスコントロール

工場出荷時にあらかじめ調整されています。
お客様はご使用できません。

⑭スクリーンコントロール

工場出荷時にあらかじめ調整されています。
お客様はご使用できません。

⑮アラーム/リモート

設定メニューにより、アラーム端子またはリモート端子として働きます。

・アラーム端子

センサーや警報装置 (ブザー、ランプなど) を接続します。

・リモート端子

外部スイッチなどを利用して、カメラ映像の切り換えなどを行う端子です。

⑯切替タイミング入力/出力端子

ビデオ受像機を増設するときや、タイムラプスVTRと組み合わせて使うときに接続します。

⑰音声入力端子

VTRの音声出力を接続し、前面の映像切換ボタンを「ビデオ」に設定すると、VTRの再生音声を聞くことができます。

⑱音声出力端子

マイクロホン付きのカメラの音声をVTRに録音する場合、接続します。

⑲映像入力端子

VTRの映像出力を接続し、前面の映像切換ボタンを「ビデオ」に設定すると、VTR再生画像が見られません。

⑳映像出力端子

ビデオ受像機を増設する場合接続します。
ただし、この端子には映像スタンバイ時でも自動切り換えされた映像が出力されます。

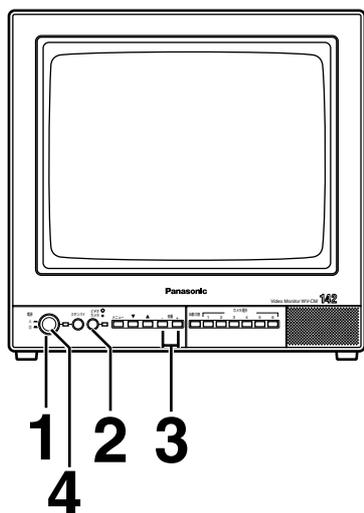
㉑AC入力端子

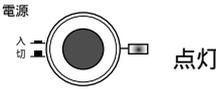
付属の電源ケーブルを接続します。
電源ケーブルの電源プラグは、AC100V (50Hz / 60Hz) に接続してください。

操作のしかた

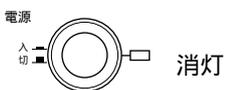
操作を始める前に

操作を始める前に、各機器が正しく接続されているか確認してください。接続のしかたは22ページをお読みください。その後、付属の電源ケーブルを本機後面のAC入力端子とAC100Vの電源コンセントに接続してください。



- 1** 電源スイッチを「入」にする。
電源表示が点灯します。

- 2** 表示する映像を選択する。
映像切換ボタンで切り換えます。
選んだ映像が表示されます。

- 3** 音量を調節する。
- 音量 + で音量を調節します。音量はバーで表示されます。

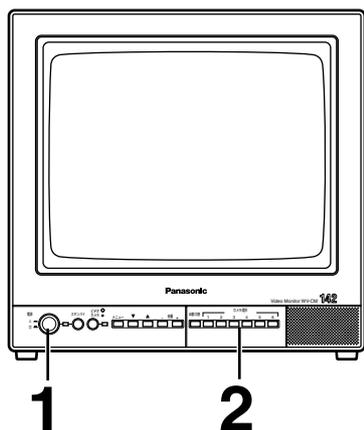
音を小さくします。 音を大きくします。
- 4** 電源をスイッチを「切」にする。
電源表示が消灯します。


電源スイッチについて

本機を長期間使用しないときは節電のため電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

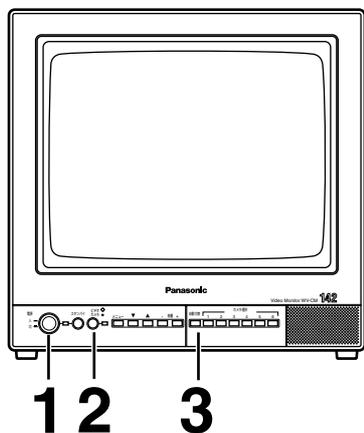
電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、または電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

カメラを選択して見るとき



- 1** 電源を入れます。
電源を入れた後、数秒間は出画しなかったり、映像出力に正常な画像が出なかったりしますが故障ではありません。
電源を入れると自動的に自動切換(シーケンスモード)になります。
- 2** カメラ選択ボタンを押します。
シーケンスモード時も、カメラ選択ボタンを押せば望みのカメラ映像を見ることができます。シーケンスモードに戻すときは、自動切換ボタンを押してください。
映像スタンバイ(画像が消えている)になっていてもカメラ選択ボタンを押せば望みのカメラ映像を見ることができます。

自動切換（シーケンスモード）で見るとき（カメラが2台以上のときのみ）

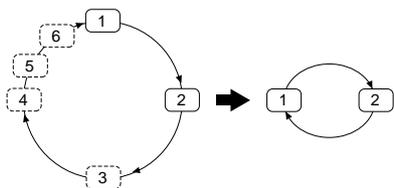


- 1 電源を入れます。
- 2 映像切換ボタンを「カメラ」にします。
- 3 自動切換ボタンを押します。
カメラ映像の切換間隔は、設定メニューで選択できます。

スキップ機能

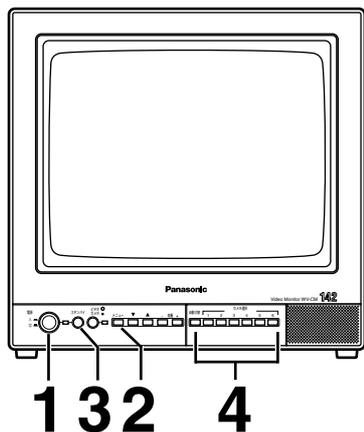
カメラが2台または3台しか接続されていないときは、カメラが接続されていない入力を自動的にスキップ（飛びこし）して、カメラ映像を切り換えます。

左図の場合カメラ3、4、5、6がスキップされます。



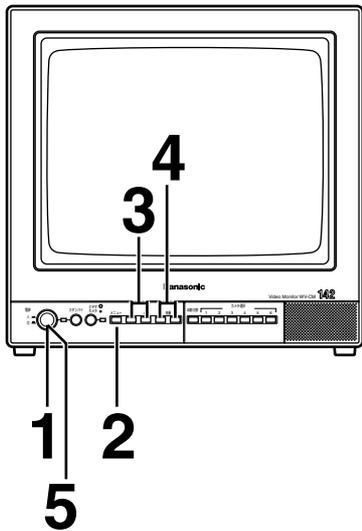
スタンバイ切り換えがモード2に設定されている場合は映像が出ません。

画面を出さないでおり、必要などきにすぐ見たいとき スタンバイ機能

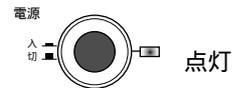


- 1 電源を入れます。
- 2 調整メニューを表示して、スタンバイの項目を「モード2」に設定します。（☞11ページ）
初期設定モードでは「モード1」に設定されています。
- 3 スタンバイボタンを押して、スタンバイモードにします。
画面が消えます。
- 4 カメラ映像を見るときは、自動切換ボタン、またはカメラ選択ボタンを押します。
さらに、もう一度画面を消すときは、スタンバイボタンを押してください。

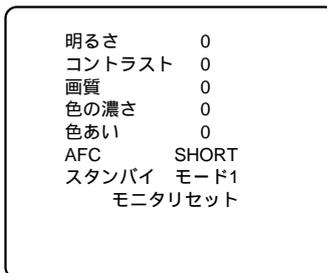
画像調節のしかた



1 電源スイッチを「入」にする。
電源表示が点灯します。



2 調整メニューを表示する。
メニュー を押すと調整メニューがオンスクリーン表示されます。



調整メニュー(画面はお買い上げ時の状態です)

3 調整する項目を選びます。
▲ ▼ で選択します。

4 画像の調節および、設定をします。
- 音量 + で調節します。設定内容はバーと数字で表示されます。

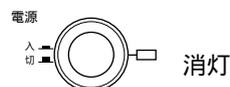


引き続き調整を行うには

調節中に ▲ ▼ を押すと、続けて次の設定項目を調節できます。

調整メニューを消すときは ^{メニュー} を押してください。

5 電源をスイッチを「切」にする。
電源表示が消灯します。



調整メニューについて

明るさ	画面の明るさを調節します。
コントラスト	明暗比を調節します。
画質	画像の柔らかさを調節します。
色の濃さ	色の濃淡を調節します。
色あい	肌色を基準に色の具合を調節します。
AFC	入力映像に合わせて、周波数の制御方式を選択します。
スタンバイ	スタンバイモードの状態(モード1/モード2)を選択します。

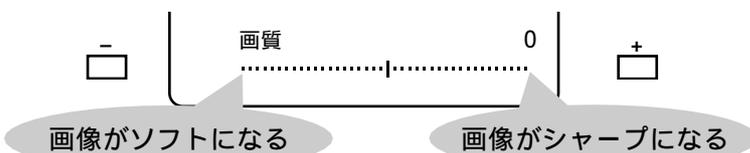
「明るさ」の調節



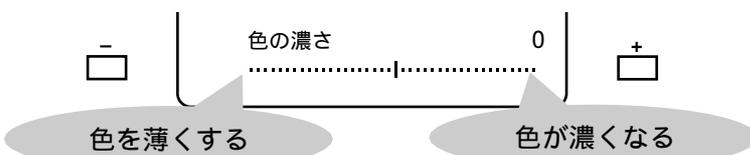
「コントラスト」の調節



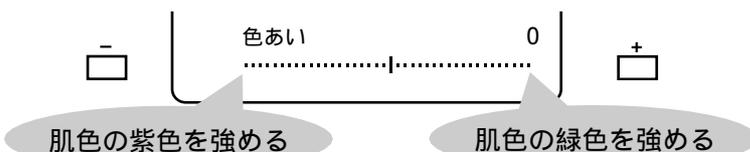
「画質」の調節



「色の濃さ」の調節



「色あい」の調節



「AFC」の調節

または で「LONG」「SHORT」を切り換えます。

LONG : テレビ放送など、ノイズが多い信号を入力するとき。

SHORT : VTRの再生画像やカメラからの映像を入力するとき。

「スタンバイ」の調節

または で「モード1」「モード2」を切り換えます。

モード1 : 画面を低輝度にするとき。

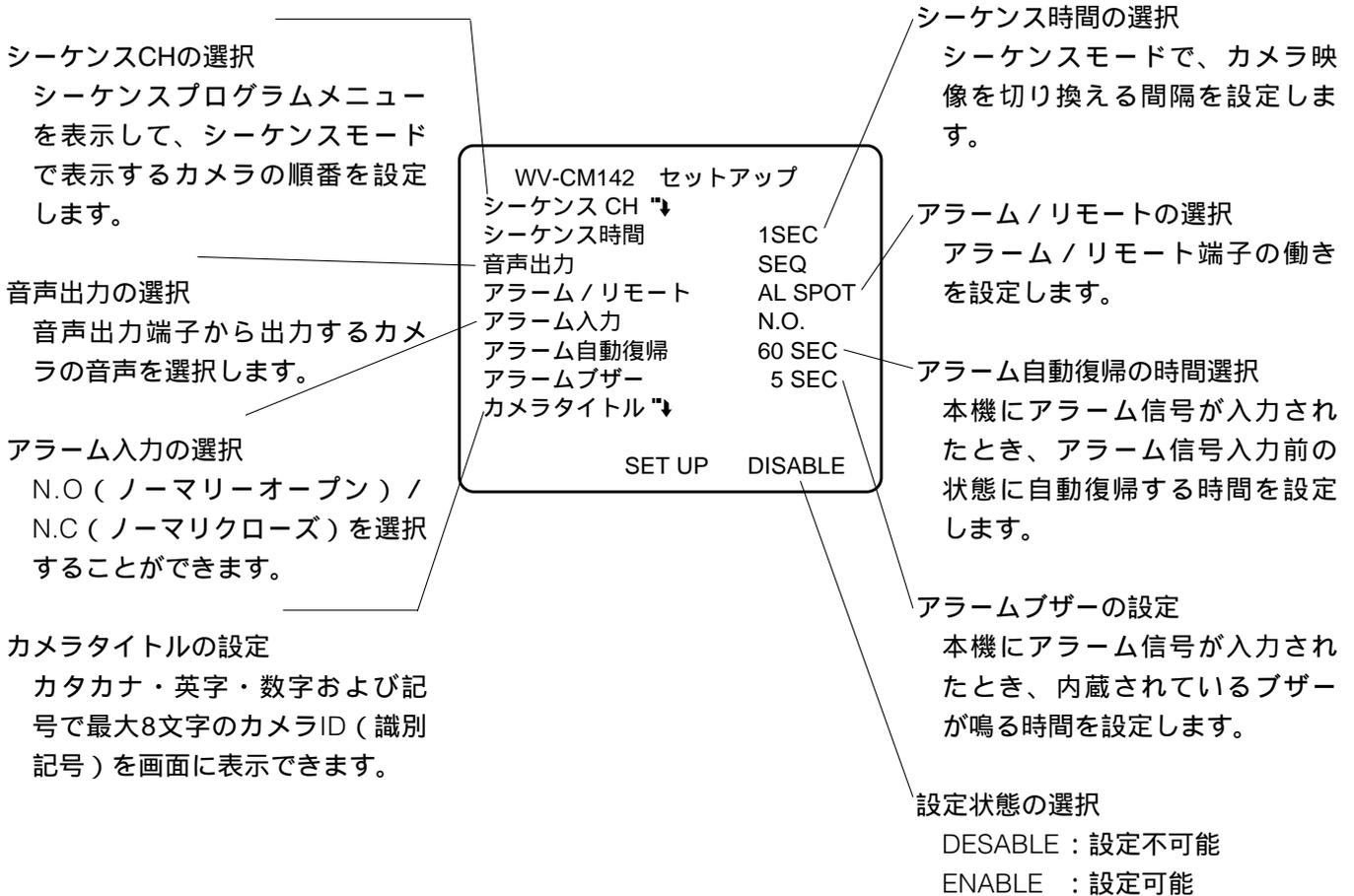
モード2 : 画面を消すとき。(黒画)

お買い上げ時の状態に戻すには

お買い上げ時の状態に戻すときは で「モニタ リセット」を選んでから または を押してください。

設定のしかた

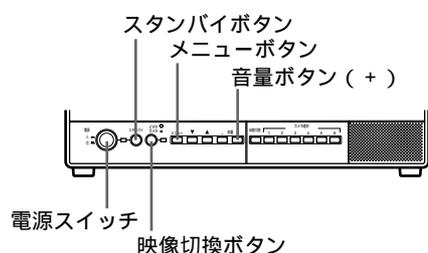
設定メニュー画面



重要

DISABLE (設定不可能) が表示されているときは、設定内容を変更できません。これは誤操作によって設定内容を更新されるのを防ぐためです。

設定手順



設定メニュー

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH	シーケンス時間
音声出力	1SEC
アラーム/リモート	SEQ
アラーム入力	AL SPOT
アラーム自動復帰	N.O.
アラームブザー	60 SEC
カメラタイトル	5 SEC
SET UP	DISABLE ←

音量調節 (+) または (-) のスイッチを押す

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH	シーケンス時間
音声出力	1SEC
アラーム/リモート	SEQ
アラーム入力	AL SPOT
アラーム自動復帰	N.O.
アラームブザー	60 SEC
カメラタイトル	5 SEC
SET UP	ENABLE ←

1

工場出荷時の状態に戻す (リセットする)

設定メニューに入る前に、必ず下記の手順に従って全ての項目を工場出荷時の設定に戻してください。

- ① 次のようにボタンを設定し、設定メニューが表示されていないことを確認してください。
スタンバイボタン : OFF (電源表示が緑色に点灯)
映像切換ボタン : カメラ (映像切換表示が消灯)
- ② 電源スイッチを「切」にしてください。
- ③ メニューボタンと音量ボタン (+) を同時に押しながら、電源スイッチを「入」にしてください。
全ての項目が工場出荷時の設定にリセットされます。

2

設定メニューに入る/映像画面に戻る

- カメラ選択ボタン (1~6) を押して、カメラ映像を表示します。
- メニューボタンを2秒以上押し続けると、設定メニューがオンスクリーンで表示され、設定内容を確認できます。
- 設定項目を変更する必要がない、または変更が終了したら、メニューボタンを押します。このとき画面はカメラ映像に戻ります。

3

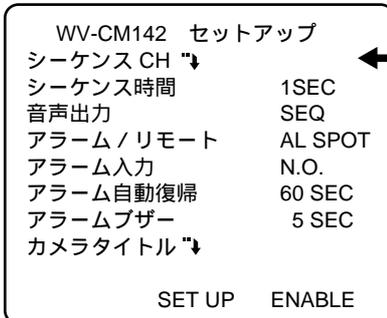
設定メニューの実行

- ① 設定メニューを実行 (設定内容の変更) するには、設定メニューを表示したあと、選択ボタン (▲) または (▼) でカーソルを一番下の「DISABLE」に移動します。
- ② 次に、音量ボタン (+) または (-) を押すと「ENABLE」(設定可能) の表示に変わり、設定内容を変更できるようになります。
- ③ 選択ボタン (▲) または (▼) を押して、設定する項目にカーソルを移動し、設定を行います (☞ 14 ~ 16 ページ)。

重要

設定内容を変更してからカーソルを次の項目に移動すると、変更した内容がメモリーに書き込まれます。書き込まれた内容は、電源を切っても、次に変更した内容が書き込まれるまで保存されます。

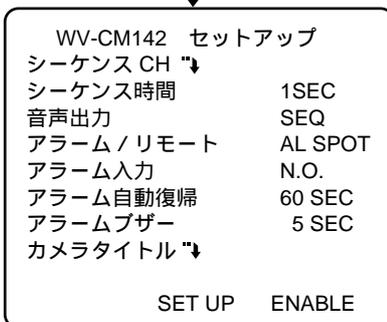
シーケンスモードの設定



音量ボタン (+) または (-) 押す



メニュースイッチを押す



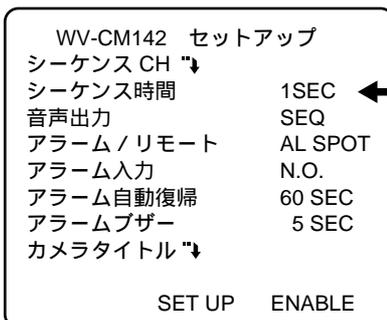
シーケンスプログラムメニューの表示

- ① セットアップメニューを表示します。
- ② カーソルを“シーケンスCH”の位置に移動し、音量ボタン (+) または (-) を押します。
- ③ 画面上にシーケンスプログラムメニューが表示されます。

表示するカメラの設定

- ① 選択ボタン (▲) または (▼) で、各シーケンスモードで表示するカメラの設定部にカーソルを移動します。
SEQ A : 通常のシーケンスモード
SEQ B : 後面にあるアラーム / リモート端子の「シーケンスモード (25番ピン)」を利用して切り換えるシーケンスモード
- ② 音量ボタン (+) または (-) で表示するカメラを設定します。左図のように、1、2、3、4、5、6と設定すると、表示されるカメラ映像の順番もカメラ1、2、3、4、5、6となります。
1~6 : カメラ入力1~6に接続したカメラ
• : カメラを設定しない
- ③ 手順①、②の操作をくり返して、表示するカメラの設定が終了したらメニューボタンを押します。
- ④ セットアップメニューに戻ります。
- ⑤ 他の項目の設定に入ります。
他の項目の設定がない場合は再度メニュースイッチを押します。

シーケンス時間の設定



シーケンスモード時、カメラ映像を切り換える時間を選択します。

- カーソルを“シーケンス時間”の設定項目に移動し、音量ボタン (+) または (-) で切り換え時間を選択します。
1~10SEC : 1~10秒
15SEC : 15秒
20SEC : 20秒
25SEC : 25秒
30SEC : 30秒
EXT : 切換タイミング入力端子に入力される信号で切り換える。

音声出力の選択

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH ↘	
シーケンス時間	1SEC
音声出力	SEQ ←
アラーム / リモート	AL SPOT
アラーム入力	N.O.
アラーム自動復帰	60 SEC
アラームブザー	5 SEC
カメラタイトル ↘	
SET UP	ENABLE

音声出力端子から出力するカメラの音声を選択します。

- カーソルを“音声出力”の設定項目に移動し、音量ボタン(+)または(-)で設定します。
SEQ : カメラ映像の切り換えと合わせて音声を切り換えます。
CH 1~6 : 設定したカメラの音声を出力します。

アラーム / リモートの選択

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH ↘	
シーケンス時間	1SEC
音声出力	SEQ
アラーム / リモート	AL SPOT ←
アラーム入力	N.O.
アラーム自動復帰	60 SEC
アラームブザー	5 SEC
カメラタイトル ↘	
SET UP	ENABLE

アラーム / リモート端子の働きを設定します。

- カーソルを“アラーム / リモート”の設定項目に移動し、音量ボタン(+)または(-)で設定します。
AL SPOT : アラーム端子として機能し、アラーム入力のあった最新のカメラ映像を表示します。
AL SEQ : アラーム端子として機能し、アラーム入力のあったカメラ映像をシーケンスモードで表示します。
REMOTE : リモート端子として機能し、リモート入力のあったカメラ映像を表示します。

アラーム入力の選択

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH ↘	
シーケンス時間	1SEC
音声出力	SEQ
アラーム / リモート	AL SPOT
アラーム入力	N.O. ←
アラーム自動復帰	60 SEC
アラームブザー	5 SEC
カメラタイトル ↘	
SET UP	ENABLE

アラーム / リモート端にある“アラーム入力1~6”の動作方法を設定します。

- カーソルを“アラーム入力”の設定項目に移動し、音量ボタン(+)または(-)でアラーム入力を選択します。
N.O. : アラーム信号 High Low
N.C. : アラーム信号 Low High

アラーム自動復帰の時間選択

WV-CM142 セットアップ	
シーケンス CH ↘	
シーケンス時間	1SEC
音声出力	SEQ
アラーム / リモート	AL SPOT
アラーム入力	N.O.
アラーム自動復帰	60 SEC ←
アラームブザー	5 SEC
カメラタイトル ↘	
SET UP	ENABLE

アラーム信号入力時、入力前の状態に自動復帰する時間を設定します。

- カーソルを“アラーム自動復帰”の設定項目に移動し、音量ボタン(+)または(-)で復帰時間を選択します。
1SEC : 1秒
5SEC : 5秒
10~60SEC : 10~60秒(10秒間隔)
OFF : 自動復帰しない

アラームブザーの設定

WV-CM142 セットアップ
 シーケンス CH 1
 シーケンス時間 1SEC
 音声出力 SEQ
 アラーム / リモート AL SPOT
 アラーム入力 N.O.
 アラーム自動復帰 60 SEC
 アラームブザー 5 SEC ←
 カメラタイトル 1
 SET UP ENABLE

アラーム発生時、内蔵ブザーの鳴る時間を設定します。

- カーソルを“アラームブザー”の設定項目に移動し、音量ボタン (+) または (-) で設定します。
 1SEC : 1秒
 5SEC : 5秒
 10~60SEC : 10~60秒 (10秒間隔)
 OFF : ブザーを鳴らさない

カメラタイトルの設定

WV-CM142 セットアップ
 シーケンス CH 1
 シーケンス時間 1SEC
 音声出力 SEQ
 アラーム / リモート AL SPOT
 アラーム入力 N.O.
 アラーム自動復帰 60 SEC
 アラームブザー 5 SEC
 カメラタイトル 1 ←
 SET UP ENABLE

カメラタイトルメニューの表示

- ①セットアップメニューを表示します。
- ②カーソルを“カメラタイトル”の位置に移動し、音量ボタン (+) または (-) を押します。
- ③画面上にカメラタイトルメニューが表示されます。

音量ボタン (+) または (-) を押す

カメラタイトル

カーソル (点滅)

CH1 1.....
 CH1 2.....
 CH1 3.....
 CH1 4.....
 CH1 5.....
 CH1 6.....

カメラタイトルの内容変更及び非表示

- ①選択ボタン (▲) または (▼) で、設定するカメラを選びます。
- ②音量ボタン (+) および (-) で文字の選択ができます。
 カメラタイトルで使用できる文字は下表のとおりです。
 非表示の場合は、「CH ().....」と設定します。
- ③文字の設定が終了したらメニューボタンを押します。
- ④セットアップメニューに戻ります。
- ⑤再度メニューボタンを押すと、カメラタイトルが本体メモリに登録されます。

メニュースイッチを押す

WV-CM142 セットアップ
 シーケンス CH 1
 シーケンス時間 1SEC
 音声出力 SEQ
 アラーム / リモート AL SPOT
 アラーム入力 N.O.
 アラーム自動復帰 60 SEC
 アラームブザー 5 SEC
 カメラタイトル 1
 SET UP ENABLE

選択ボタン (▼)		選択ボタン (▲)																			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	!	"	#	\$	%	&	'	()
*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>	?	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ
ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ
ッ	ー	”	°	.	(ブランク)																

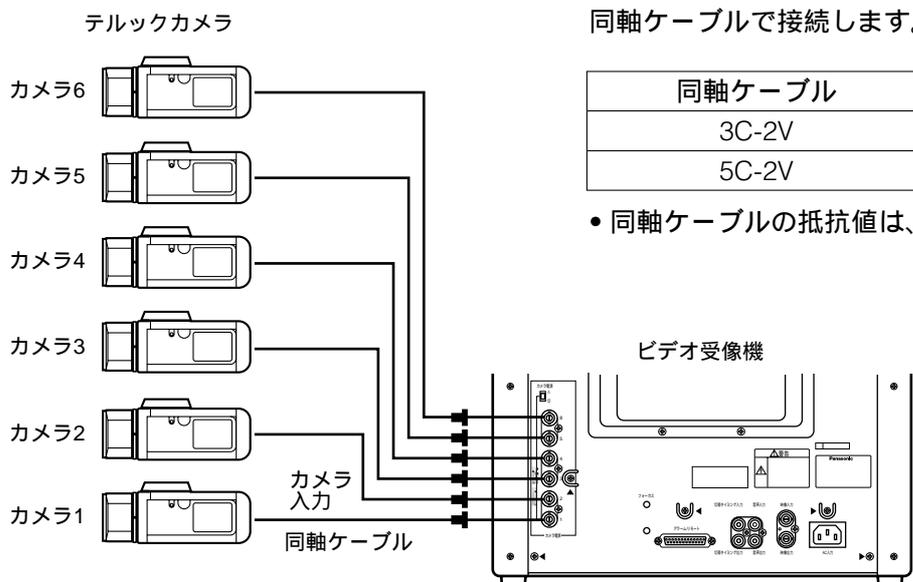
工事説明

本機の工事は、必ず販売店に依頼してください。

工事を始める前に、必ず3～5ページの「安全上のご注意」を読んでください。また、工事する際は、必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

接続のしかた

カメラの接続



重要

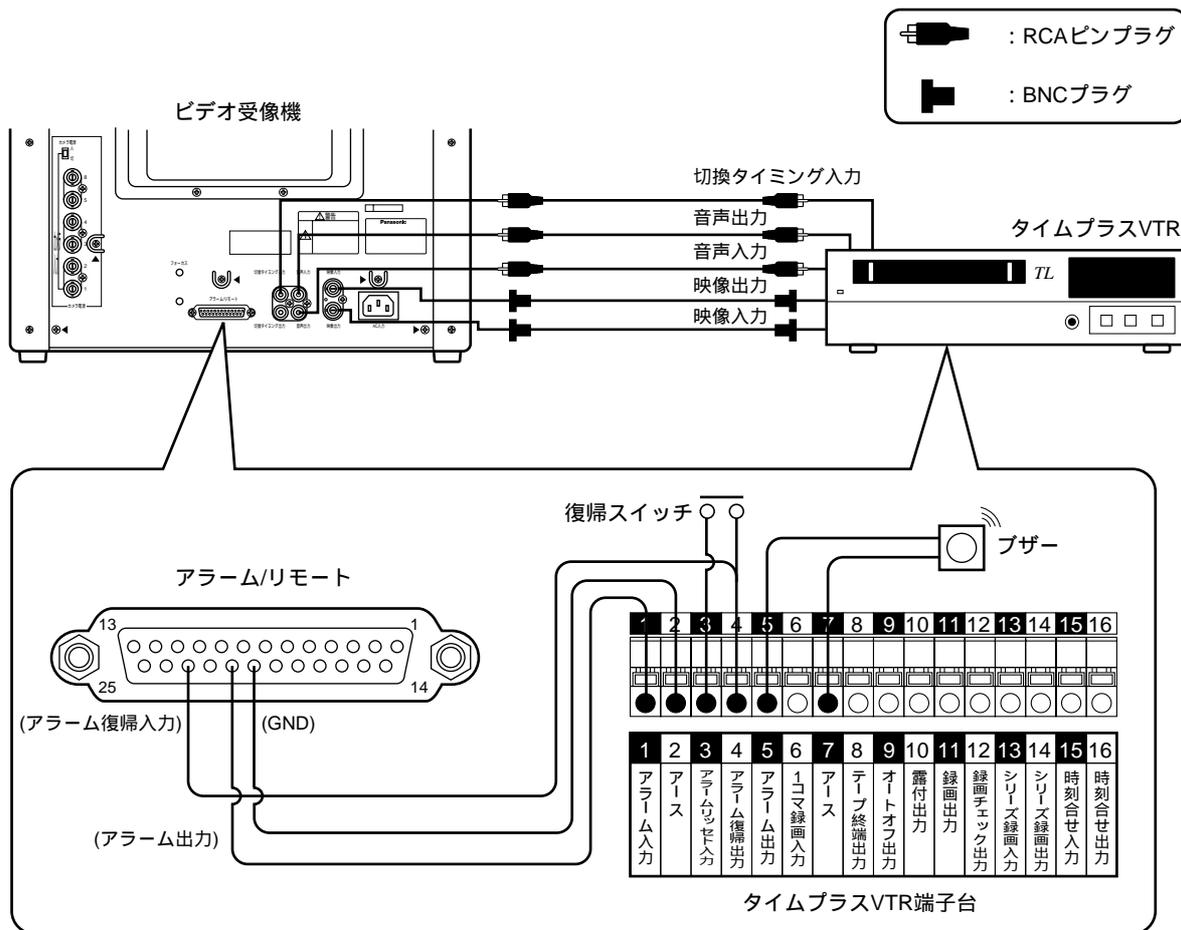
- 1.カメラを接続するときは必ずビデオ受像機の電源を切ってから接続してください。電源を入れたままカメラを接続しても誤接続保護回路が働いてカメラは動作しません。
- 2.カメラはテルックカメラをお使いください。それ以外のカメラを接続しても正常には動作しません。
- 3.カラーシステムカメラは、カメラ入力1にだけ接続できます。接続は、カメラ電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

タイムプラスVTRの接続

設定メニューでの設定

シーケンス時間：EXTに設定してください。

アラーム自動復帰：OFFに設定してください。



重要

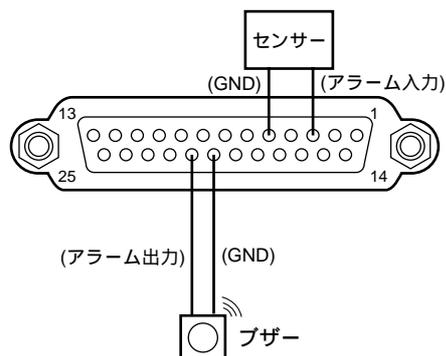
1. タイムプラスVTRと組み合わせ、さらに外部ブザーなどのアラーム出力を出すときは、タイムプラスVTRのアラーム出力を使用してください。くわしくは、タイムプラスVTRの取扱説明書を参照してください。
2. タイムプラスVTRの録音については記録不可能な場合があります。くわしくは、タイムプラスVTRの取扱説明書を参照ください。

	信号		備考
	NO	リモートモード	
GND	1	同左	
コントロール入力 (NOP)	2	コントロール入力	リモートモードで使用
アラーム入力1	3	リモート入力1	
アラーム入力2	4	リモート入力2	
GND	5	同左	
アラーム入力3	6	リモート入力3	
アラーム入力4	7	リモート入力4	
GND	8	同左	
アラーム入力5	9	リモート入力5	
アラーム入力6	10	リモート入力6	
GND	11	同左	
リモート出力1	12	同左	
リモート出力2	13	同左	
GND	14	同左	
リモート出力3	15	同左	
リモート出力4	16	同左	
GND	17	同左	
リモート出力5	18	同左	
リモート出力6	19	同左	
GND	20	同左	
アラーム出力	21	同左	
アラーム復帰出力	22	同左	
アラーム復帰入力	23	同左	
GND	24	同左	
シーケンスモード	25	同左	

アラーム / リモート端子の接続

センサーや警報装置（ブザー、ランプなど）の接続

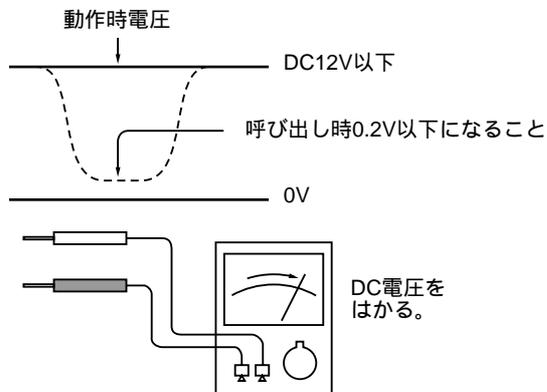
- センサーからの信号が入力されると、対応するカメラ映像を表示するとともに、アラーム出力に接続をした警報装置を作動させます。
- センサーはアラーム入力1（3番）、アラーム入力2（4番）、アラーム入力3（6番）、アラーム入力4（7番）、アラーム入力5（9番）、アラーム入力6（10番）に接続します。下記は、アラーム入力1に接続した例です。
- アラーム入力1～6は、カメラ入力端子1～6に対応しています。



設定メニューでの設定

アラーム / リモート：AL SPOTまたはAL SEQに設定してください。

[センサーについて]



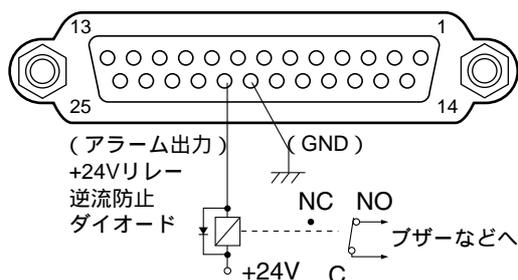
接続できるセンサーには条件があります。

1. 動作電圧がDC12V以下であること。
(AC電源で動作するものは使えません。)
2. センサーが動作したときラインの電圧が0～0.2Vになること。
3. 2線式のものに限ります。

具体的には、接続端子をテスターで測定して電圧、極性をたしかめてから接続してください。

[アラーム出力について]

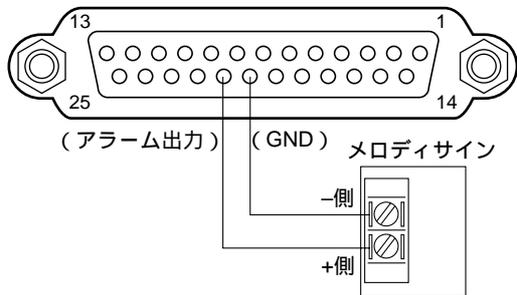
アラーム出力にも極性があります。極性を確認してください。
アラーム出力の接点容量はDC24V、100mA以下です。



直接動作させられないとき

(動作が接点容量をこえるとき)

ブザーなどの起動スイッチに流れる電流がDC24V、100mAを超える場合はアラーム出力端子で直接動作させることはできません。リレーなどを使ってブザーを鳴らしてください。



直接動作させるとき
(接点容量内で動作するとき)

自動復帰について

本機にはセンサー入力後、約1～60秒で自動復帰する回路が内蔵されています。

設定メニューの自動復帰の時間選択で約1～60秒から選択します。

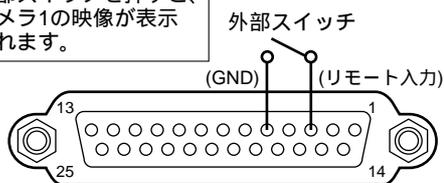
各入力での自動復帰の動作は次のようになります。

1. センサー使用のとき ➡ センサー入力によりカメラ選択し、約1～60秒後にシーケンスモードに復帰します。
2. タイムラプスVTRの使用のとき ➡ センサー入力によりカメラ選択し、その後シーケンスモードに復帰します。

リモート端子の接続

- 外部スイッチなどを利用して、カメラ映像の切り換えを行うことができます。
- 外部スイッチは、リモート入力1(3番)、リモート入力2(4番)、リモート入力3(6番)、リモート入力4(7番)、リモート入力5(9番)、リモート入力6(10番)に接続します。下記は、リモート入力1に接続した例です。
- リモート入力1～6は、カメラ入力端子1～6に対応しています。

外部スイッチを押すと、カメラ1の映像が表示されます。



設定メニューでの設定

アラーム/リモート: REMOTE

シーケンスプログラム (SEQA、SEQB) 切り換え用のスイッチ接続

- シーケンスモードの設定 (☞14ページ) では、シーケンスプログラムメニューで、SEQAとSEQBに表示するカメラの設定ができます。通常使用されるシーケンスプログラムはSEQAですが、外部スイッチを利用することにより、SEQBを使用することができます。



外部スイッチを押すたびに、SEQAとSEQBが切り換わります。

故障と思われましたら

調べてもなお異常のあるときは電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

症状	調べるところ
映像が出ない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？ カメラのレンズキャップをはずしていますか？ 同軸ケーブルは正しく接続されていますか？ スタンバイボタンが押され、スタンバイモードになっていませんか？
	お願い：ビデオ受像機の電源が「入」のままカメラを接続しても映りません。 電源を「切」にしてから接続してください。 ：電源を「切」にした後、再度電源を「入」にするときは、約3秒以上時間を置いてください。電源を「切」にした後すぐ「入」にするとカメラ映像が映らないことがあります。
自動切り換えができない	センサー入力の接続は正しいですか？ 切り換えタイミングの設定 / 接続は正しいですか？ 設定メニュー / 接続のしかたを確認してください。

仕様

電源 : AC 100 V 50/60 Hz

消費電力 : 約130 W (カメラ6台使用時)

C R T : 90° 偏向 14型対角

画面サイズ : 280.8 (H) × 210.6 (V) mm

カメラ入力*1 : VS1.0 V[p-p]/75 × 6 (BNC接栓)

カメラ入力1 : カラーテルックカメラまたは多重VD (VD2) 同期付きカメラ*2

カメラ入力2 ~ 6 : カラーテルックカメラ専用

映像入力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)

映像出力 : VS1.0 V[p-p]/75 × 1 (BNC接栓)

カメラ電源供給方式 : 定電流重畳伝送方式

映像切換 : 自動/手動切換

自動切換時間 : 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 15, 20, 25, 30秒, EXT (設定メニューで選択可能)

スキップ機能 : オートスキップ / マニュアルスキップ

自動復帰時間 : OFF, 1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒 (設定メニューで選択可能)

解像度 : 370本以上 (水平、中心部にて)

偏向直線性

水平 : 5 %以下

垂直 : 5 %以下

偏向ひずみ : 2 %以下

水平走査周波数 : 15.734 kHz

垂直走査周波数 : 59.94 Hz

音声入力 : - 8 dB/Hi-Z (ピンジャック)

音声出力 : - 10 dB/Lo-Z (ピンジャック)

スピーカ出力 : 0.5 W

コントロール入力 : 1回路、無電圧メイク接点 (DC 12 V未満)

アラーム/リモート入力 : 6回路 (1回路 / 1カメラ) 無電圧メイク接点 (DC 12 V未満)

リモート出力 : 6回路、オープンコレクタ (DC 24 V 100 mA未満)

アラーム出力

スタンバイ出画時出力 : 1回路、オープンコレクタ (DC 24 V 100 mA未満)

アラーム音の時間 : OFF, 1, 5, 10, 20, 30, 40, 50, 60秒 (設定メニューで選択可能)

カメラ延長距離 : 最大500 m (5C-2V使用時)

周囲温度 : - 10 ~ + 50

寸法 : 幅370 mm 高さ352 mm 奥行き399 mm 高さはゴム足含まず。奥行きは突起部含まず。

質量 : 約14 kg

仕上げ

エスカッション : AVアイボリー色樹脂製 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

カバー : AVアイボリーエリオ鋼板 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

*1 カメラ入力に専用カメラ以外を接続すると、一部機能が正常に動作しません。

*2 多重VD (VD2) 同期付きカメラは、カメラ電源スイッチを「OFF」にしたときだけ接続できます。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読み
のあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラービデオ受像機の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

21ページの表に従ってご確認の後、まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

